

2021 年度(令和 3 年度)学校評価自己評価表

|        |      |                 |
|--------|------|-----------------|
| 培遠中学校区 | 校番59 | 福山市立日吉台小学校      |
| 最終更新日  |      | 2022年(令和4年)3月3日 |

I 福山市

|       |  |
|-------|--|
| ミッション | 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。  |
| ビジョン  | 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。 |

II 中学校区

|   |  |                           |   |
|---|--|---------------------------|---|
| 前年度学校関係者評価の主な内容   | 児童生徒の現状  | 育成する力<br>(21世紀型“スキル&倫理観”) | 課題発見力、論理的思考力、コミュニケーション力、実践力   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校・中学校共に、子どもが目標を立て、課題に取り組み、その成功体験により、自己肯定感が上がるという流れよくわかった。</li> <li>中学校は、短期経営目標の自己評価結果に基づき改善方針を実行してほしい。</li> <li>積極的な情報発信により、中学校区の学校保護者・地域が互いに連携協力を深めてほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に学び合う姿が増えてきた。</li> <li>課題発見学習にチャレンジしている。</li> <li>中学校における長期欠席の生徒は全体の4.6%である。(全国平均3.9%)</li> <li>人間関係トラブルを、当事者同士で解決できない。周辺の一部の子ども達にも、トラブルを温存、助長する傾向がある。</li> <li>中学校では、一部の生徒で、SNSのトラブルが、繰り返し起きている。</li> </ul> | めざす子ども像<br>(義務教育修了時の姿)    | 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる   |
|   |  | 中学校区として統一した取組等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的で、対話のある授業づくり</li> <li>子どもの問いが生まれる授業づくり</li> <li>子どもがワクワクする授業づくり</li> <li>地域貢献活動の実施</li> </ul> |

III 自校

|        |   |                           |  |   |  |                                |                                   |
|--------|---|---------------------------|--|---|--|--------------------------------|-----------------------------------|
| ミッション  | 社会の一員としての自覚を持ち、自ら「夢」に向かって挑戦する、自律した子どもを育成する。   | 育成する力<br>(21世紀型“スキル&倫理観”) | 課題発見力  | 論理的思考力  | コミュニケーション能力                              | 実践力                            |                                   |
| 学校教育目標 | 自ら気づき、考え、判断して行動する子どもの育成   | めざす子ども像                   | 低学年  | 「不思議だな」「何故かな」を見つけることができる。                                     | 事柄や時間の順序を整理しながら考えることができる。                | 自分の思いや考えを相手に伝えることができる。         | 自分がすることを最後までやり抜くことができる。           |
| 現状     | <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;児童生徒&gt;</li> <li>自分達で企画運営する異学年活動、委員会・学級活動を積極的に行おうとする姿が見られるようになった。</li> <li>「自分にはよいところがある」88.4%、「学級や委員会で自分の役割を果たしている」91.7%であった。</li> <li>暴言暴力によるトラブルが多い。</li> <li>長期欠席児童は4名である。</li> <li>&lt;授業&gt;</li> <li>「授業で考えることが面白い」91.1%、「自分で考えた方法で学んでいる」85.5%であり、意欲的に学び合う姿が増えてきた。</li> <li>全員が一律に取り組む学習だけではなく、児童が学び方や取り組む順番など、自分で選択できる内容を単元に位置付けるようにしている。</li> <li>教科横断的な学びにより、児童の興味関心を喚起しながら、資質・能力を育むような授業展開をする必要がある。</li> </ul> |                           | 中学年  | 自ら問いを見つけ、既習内容や方法で解決することができる。                                  | 因果関係を整理し、筋道を立てながら考えることができる。              | 自分の考えと相手の考えを比べながら伝え合うことができる。   | 自分がすることを考えて、目標を持って最後までやり抜くことができる。 |
|        |   |                           | 高学年  | 自ら問いを見つけ、見通しを持って調べたり、考えたりしながら、解決することができる。                     | 因果関係を整理し、筋道を立てたり、根拠を明確にしたりしながら考えることができる。 | 多様な考えを受け入れながら、自分の考えを伝えることができる。 | 自分の役割を自覚し、役に立つ喜びを感じながら行動することができる。 |
|        |   | 研究                        | テーマ  | 学ぶ楽しさを実感しながら、主体的に学びに向かう力を育む授業づくり<br>～知的な好奇心を高める探究的な単元づくりを通して～ |  |                                |                                   |
|        |   |                           | 内容等  | 認知のしくみ・探究的な学び等についての理論研究、単元づくり、授業研究・協議                         |  |                                |                                   |
|        |   | めざす授業の姿                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが、「もっとやりたい」「できた」「わかった」と実感する授業</li> <li>子どもの問いから広がる授業</li> <li>子どもが対話したり、解決方法を自分で選択したりする授業</li> </ul> |   |  |                                |                                   |

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立日吉台小学校

| 年 目 | 中期経営 目標                     | 重点 | 分類  | 短期経営目標   | 目標達成に 向けた取組  | 評価指標   | 中間評価(10月1日)  |        |       | 最終評価(2月末)   |   |        |       |       |   |
|-----|-----------------------------|----|-----|--|--|--|--|--------|-------|---|---|--------|-------|-------|---|
|     |                             |    |     |  |  |  | □指標に係る 取組状況  | 70% 評価 | 達成 評価 | 改善方策  | □指標に係る 取組状況   | 70% 評価 | 達成 評価 | 総合 評価 | 改善方策  |
| 4   | 主体的に 学ぶ力の 育成                | ★  | 見直し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぼう とする意欲 を育む。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な展開 になるような単元 づくりを行う。</li> <li>・単元に自分のペ ースで取り組む 時間と内容を位 置付ける。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと学びた い」「授業が楽し い」80%以上</li> </ul>  | <input type="checkbox"/> 「もっと学び たい」80.6%<br><input type="checkbox"/> 「授業が楽し い」90.5%  | 3      | 3     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教えること、子 どもが考えるこ とを適切に位置 付けるための教 材研究を継続す る。</li> <li>・興味関心の広が り、教材・内容の つながりを検討し て教育課程を見直 す。</li> </ul>             | <input type="checkbox"/> 「もっと学びたい」 85.9%<br><input type="checkbox"/> 「授業が楽しい」 87.7%<br>◎短期(中期)経営 目標の達成状況  | 3      | 4     | 4     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他学年と協働 する学習、他学 年に向けて発信 する学習を計 画することで相手・目的意 識をもち、楽し みながら学ぶ ことのできる 活動を仕組ん でいく。</li> </ul> |
|     |                             |    | 見直し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの目標 を決め、学び 方を考えなが ら学力の定着を図る 授業づくりを行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットドリ ルなど多様な方 法で学習を行 う。</li> <li>・個別の状況を把握し、必要に 応じた個別の学習 を行う。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分で考えた 方法で学んでいる」</li> <li>・「授業が分かる」 80%以上</li> <li>・学期末確認テ スト国語・算数 85点以上</li> </ul>     | <input type="checkbox"/> 「自分で考えた 方法で学んでいる」 84.1%<br><input type="checkbox"/> 「授業が分かる」 91.2%<br><input type="checkbox"/> 1学期末テスト 国語 76.2点 算数 72.5点    | 3      | 3     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で集中的に 「読む」「書 く」「話す」活 動に取り組むと ともに、授業の 中にも多様な表 現活動を位置付 ける。</li> </ul>   | <input type="checkbox"/> 「自分で考えた方法 で学んでいる」 88.5%<br><input type="checkbox"/> 「授業が分かる」 91.8%<br><input type="checkbox"/> 2学期末テスト 国語 73.4点 算数 70.3点<br>◎基本的な学力は概ね定 着しているが、個別支 援を継続していく必要 がある。 | 4      | 3     | 3     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中的な取組 を継続すると ともに、「読む」「書く」「話 す」などの言語活動をカリ キュラムに位 置付け、計画的に行ってい く。</li> </ul>             |
| 2   | 自らに自信を持つ とともに、 相手を思いやる心の 育成 | ★  | 継続  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割 を自覚し、課 題解決に向け、協働して やり抜く力を 育む。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けた 係活動、委員会活 動になるよう内容 を見直す。</li> <li>・自分の役割を考 えることができる 多様な活動の 場をつくる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学級や委員会 で自分の役割を 果たしている」 85%以上</li> <li>・「自分には良い ところがある」 85%以上</li> </ul>                 | <input type="checkbox"/> 「学級や委員会 で 自分の役割を果 たしている」91.2%<br><input type="checkbox"/> 「自分には良い ところがある」 78.5%   | 3      | 3     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動の意義を見 直す取組をする とともに、委員会担 当と児童の連携を 充実させる。</li> <li>・行動目標を立て、 振り返りで達成 状況を評価する ことを継続する。</li> </ul>                 | <input type="checkbox"/> 「学級や委員会 で自 分の役割を果たし ている」94.1%<br><input type="checkbox"/> 「自分には良いと ころがある」78.8%<br>◎自分の役割を自覚 し、主体的に動く 児童が増えている。   | 4      | 3     | 3     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組を全校で共 有するために、 児童集会で、委 員会・係活動を 紹介する。</li> <li>・課題を共有し、 改善に向けた 取組を考える 機会を作る。</li> </ul> |
|     |                             |    | 新規  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識を持 った言動をし ようとする態 度を育む。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が企画運営 する異学年活動を行 う。</li> <li>・児童会が主体と なり、挨拶や優 しい言葉遣いを 呼びかける取組 をする。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分から挨拶を している」85% 以上</li> <li>・「くん・さんを付 けて呼んでいる」 75%以上</li> <li>・長期欠席者前年 度数以下</li> </ul> | <input type="checkbox"/> 「自分から挨拶 をしている」 83%<br><input type="checkbox"/> 「くん・さんを付 けて呼んでいる」 78%<br><input type="checkbox"/> 長期欠席者前年 度数比+1人 (昨年度、同時期1人) | 3      | 3     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩時間を使っ て月1回以上異 学年遊びを行う。</li> <li>・毎月第1週目を 「くん・さん週 間」として言葉遣 いを意識させる。</li> <li>・高学年と児童会 を中心に児童発 の挨拶運動を行</li> </ul> | <input type="checkbox"/> 「自分から挨拶をして いる」90.0%<br><input type="checkbox"/> 「くん・さんを付 けて呼んでいる」 85.5%<br><input type="checkbox"/> 長期欠席者前年度比 +2人 (昨年度、同時期2人)<br>◎挨拶、丁寧な言葉遣い の意義が定着しつつ             | 4      | 3     | 3     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年を中心 に相手意識を した挨拶運動 を行う。</li> <li>・毎月第1週目 の「くん・さん 週間」を継続 して行い、言 葉遣いを意識 させる。</li> </ul> |

